

高山市新火葬場建設計画についての市民意向調査中間報告並びに会波要望

本日（2022年1月26日）付のクロノスに、今回私たちが実施した市民意向調査の中間報告を掲載させていただきます。

新火葬場建設計画 市民意向アンケート調査 中間報告

R3/12/30時点

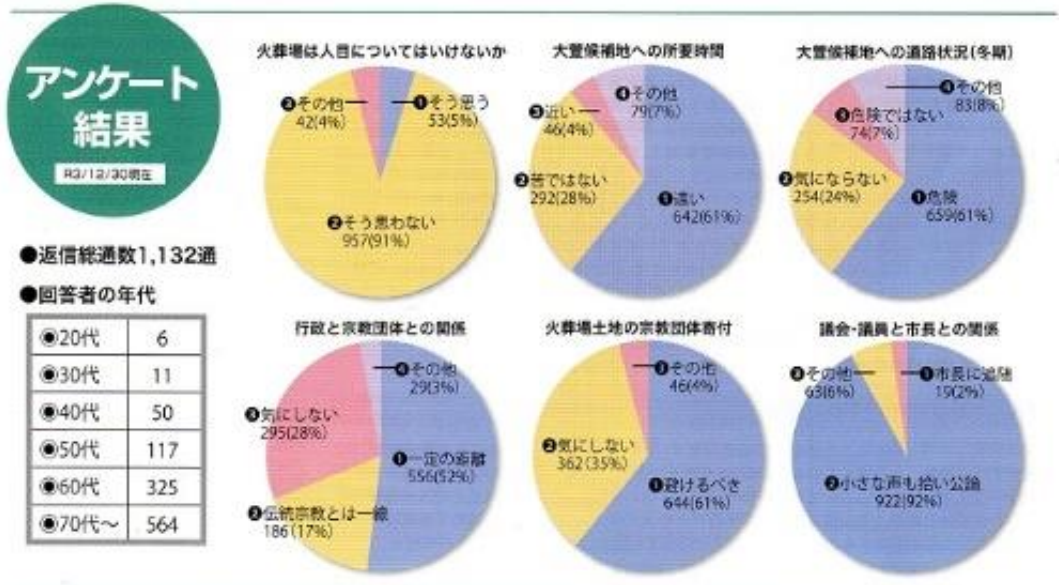


高山市議会創政・改革クラブ

中田清介 / 倉田博之
岩垣和彦 / 谷村昭次

この度の新火葬場建設計画に関する突然の市民意向調査アンケートにつきましては、私たち会派の予想を大幅に上回るたくさんの皆様からご反応をいただきました。心よりお礼申し上げます。

本当に多くの皆様の大きな関心事である事を改めて確認させていただきました。こういった意見や意向を聞く機会を得られたという事実を思う時、どこに建設地が決定されようと今回の行動の意義は大きかったと考えています。返信の期限を2月28日としておりますが、返信数は日を追って減少しており、R3最終週の返信は2週でした。従いまして、どれだけでも早い報告の意図をもって、市民の皆様へは限りなく最終報告に近い中間報告としてお知らせをさせていただきます。



アンケート調査についての疑問・ご批判につきまして

たくさんのご賛同や激励のお声をいただきました。大変勇気づけられ心より感謝いたします。一方で、疑問やご批判も少なからず頂戴しています。その多くは、私たちの本意を曲解されたことによるものか、もしくは議会人の在り様の起点的考え方において、根本的に相容れないお立場からのご詰責なのかのどちらかだと受け止めています。後者の皆様には何を語ろうと自己の正当化としか受け取られないでしょうが、前者の皆様には自らの行動スタンスを伝えきれなかったお詫びとともに、今一度しっかりと弁論させていただきたく思います。

アンケート内容が恣意的・誘導的ではないか

私たち会派のこれまでの調査をもとに市の絞り込みプロセスに疑義を抱き「自分たちはこう考えるが皆さんはどうでしょうか？」と伺った政治活動(全件調査でなくサンプル調査)です。それを恣意と表現されるのなら反論しません、押しつけがましかったならお詫びしますが、通常、表明意図(恣意と表現されたような)が介在しない政治的意見陳述を私たちは知りません。もとより論議裏付けが目的の意向調査で、単に候補地を並べてどれがいいかの投票を求める主旨ではありません。それは行政活動であり市に求めるべきものですが、市は行わないとしています。そういった中で今回、個別の希望候補地を挙げられるご意見も多かったです。大変ありがたかったです。大きな収穫だと考えています。

市民代表の検討委員会が決定した事案ではないのか

検討委設置時に私たち会派が最も心配したことは、検討委が市民意見を集約できるものではないのに、市が自らの責任を転嫁し反対意見も含めての結果責任を委員会に背負わせてしまうのではないかということでした。そのため最終地の決定は、検討基準項目の経費など検討委の視野が及びにくかった部分を含め市が改めて独自の検討を加え、市の責任で決定することを意見付与し続け、所管課は決まながらも同意をしてきました。また、検討委員さんからは「所属団体構成員として招集されたが、自分はその分野での見解を持つ一人として調査諮問機関に参加した。団体内部での意見聴取などの義務もなく所属する団体の部意を代表する立場ではない。」という複数の声を伺っており、設置目的に遠く正当な意見と受け止めていますが、一方で「私たちの決定に難癖をつける」と直接的に抗議される方もおられます。私たちは、適地提案の責任を大変な調査とともに立派に果たしていただいた検討委の皆様から感謝と敬意を表すが故に、危険な方向に市が進まないよう、検討委が決定機関ではなく調査諮問機関であることを踏まえて、市の責任で行う範囲での最終地決定プロセスに疑義があることを指摘しています。それを放置することは議員として無責任だと考えています。

また白紙に戻して建設を遅らせるのか

早期建設は皆様と同様私たちの願いでもあります。ただし、早さのみ求めることが最速地選定で最優先すべき事案だとは考えていませんし、そもそも現在の市の第一案をそのまま差し進める事が建設後の混乱をも負担するなかで最も早い方策だとは思いません。できるだけ多くの方が合理的だとされる建設地の選択こそが最も早い決定手段だと考えており、この段階では皆申3候補地から最も合理的な候補地を選択するのが最良だと唱えています。白紙に戻す意図は全くありません。

※なぜこんなにも時間がかかっているのかは、右記の時系列をご参照の上、ご判断ください。

反対は何処だろうと必ずあり 100%の同意を待っている事は進まない

私たちもそう考えています。ただこの事は、どこに決定しても何らかの我慢を強いられる方が必ずおられるという事です。その方々への説得理由が「市や検討委や議会が決定したこと」なのか「合理的理由で多くの市民が望んでいること」なのかでは理解の得られ方が違うとは思われませんか。現実には精神的苦痛を強いられる方々に対し、納得はいただけなくとも少しでも受け入れやすい状況の整えは絶対に必要だと考えるものです。

アンケートの経費は税金から出費したのか

議会予算においてどの会派にも平等に割当てられる政務活動費(20万円/1年×会派構成員数)の執行権を行使するつもりです(アンケート費用約30万円)。政務活動費は、用途の規定適合性及び領収書を正副議長と事務局がチェックし後日交付されます。会派の調査研究や研修研鑽に対する予算であり、監査委員からは目的に沿った活用をしっかりと行うようご指摘もいただいています。この報告書に関しては、会派活動報告の扱いですので交付対象とはならず、自費で対応します。

新火葬場建設計画 進捗時系列(年・月)

H22/8	国高市長初当選 「一箇月中に計画書をつける」 「一箇月中に場所決定する」
H23/3	市:スカイパーク富山公表
H26/5	市民生活運動 市民生活二課
H26/8	市:候補地入替報告 市:区別(仮)候補地第1位 市:この候補地より土地取得費等の検討
H27/12	市:スカイパーク富山社会施設案 市:市民生活運動課提案 市:国高市長選挙後 市:以後、関係機関 市:以後、関係機関
H29/10	検討委:候補地公表 市:市、教団に候補地案 市:国高市長選挙後
H29/10	検討委:大宮土地開発促進協議会 市:国高市長選挙後
H29/11	市:市に候補地案を提出 市:検討委に「国高市長選挙の 可能性ある候補」と伝達 市:以後、関係機関
H29/12	検討委:候補地公表 市:一部市民・住民団体 大宮地区外調査委員会
H30/8	国高市長三選
R1/5	新火葬場建設土地所有権 土地取得費の申請 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R1/6	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R2/4	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R2/5	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R2/11	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R2/12	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R3/1	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R3/3	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R3/4	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R3/11	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R4/1	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助
R4/1	市:建設費を補助 市:建設費を補助 市:建設費を補助

【まち協区ごとの集計及び全意見掲載資料】※下記に掲載していますので、どうぞご覧ください。

会派代表 中田清介議員ホームページ 会派会計 谷村昭次議員公式ブログ ※いずれも議員名で検索可能

●会派議員にご意見をいただければ掲載も可能です。ただしボリュームがありますので、お返しは控えさせていただきます。<お問い合わせ> 会田 090-7318-9882

これは1月19日付でFBに発表した内容を改めてまとめた中間報告です。

本日、西倉副市長に面段の上、以下の内容で調査の中間報告を手渡し、その上で令和2年12月17日に市長宛に提出した会派としての考えを改めて要望してきました。

高山市長 國島 芳明 様

令和4年1月26日
高山市議会創政・改革クラブ
中田清介/倉田博之
岩垣和彦/谷村昭次

新火葬場建設計画についての市民意向調査報告（中間）並びに会派要望（再）

高山市議会創政・改革クラブ（以後、会派）は、高山市の火葬場建設候補地の選定について、令和2年12月、市長に対し「新火葬場建設地は新宮地区での実現を望む」とした会派の考えを示しました。その時点における調査から結論に至った論拠を資料にまとめて提出したものです。しかしながら市は会派の論拠を軽視され、合理性において明確な回答を出されないまま計画を進めている現状ととらえています。

そういったなか、市民より同様の意見や疑義が会派に多く寄せられ、会派は福祉文教委員会の委員や理事者に対し意見の代弁をして参りました。福祉文教委員会はそれを受け、市からの協議に対し「火葬場建設計画を進める上では、委員会で出された様々な意見を最重要視しつつ、特に住民や広く市民に対し誠意をもって説明責任を果たし、課題の対応対策に当たることは市の必須の責務である」という委員会意見を伝えたところです。

かく状況であるにもかかわらず、市が自らの判断を一顧することなく計画を進める意向であることに対し、会派の考えが一部の市民だけの賛同ではないことの担保についての必要性を痛感し、令和3年11月に新火葬場建設に対する市民意向の調査アンケートを実施しました。

その結果会派は、最終候補地の選考において『施設が人目に付きやすくてはいけない』ことを市が最優先基準としたことは全般的に射っていないものと認識し、そのうえで多くの市民が「もっと利用人口重心点から近い場所」や「より安全な経路」を望んでいる事実を踏まえ、「特定の宗教団体の関与は避けてほしい」と感じられている方々も多数おられる丹生川町大萱候補地を、あえてわざわざ最適地とする必然性は皆無であると判断しました。

また、新たな会派調査から大萱候補地を危険とする論拠も数値的に証明することができ、特にその斜度については、市が路線線形変更工事などで強いこだわりを持つ縦断勾配8%以下の指導基準を大きく上回る9.56%の経路が1360m続くことも判明しました。

さらにSDGs推進の観点から、移動距離の延長によるCO2排出量の算出も試み、大萱候補地を建設地と決定することによる環境負荷の大きさも明白になったところです。

よって会派は、新火葬場建設検討委員会答申3候補地からの最終地決定において、新宮候補地を合理的最適地と改めて判断いたしました。

アンケート回答期限は令和4年2月28日としていますが、年が改まって後の回答数は極端に減少しているため、今後傾向としての結果に大きな変化はないものと判断し、少しでも早く市に調査結果を報告すべきとの考えから、資料添付のうえ令和3年12月30日時点での中間報告を行うと同時に、論拠としてさらに確証を得た会派の「新火葬場建設地は新宮地区での実現を望む」考えについて、再度要望いたします。

なお、当調査は個別の候補地への投票を求めたものではないため数値的結果とすることはできませんが、アンケート回答者の付随意見において3候補地の中で最もご希望の多かった場所は新宮候補地であることも申し添えさせていただきます。

また、最終報告はアンケート回答時期終了後に所管課へ資料を提出いたします。

以上

【添付資料】

①R2/12月 創政・改革クラブ提出 市長宛要望書

「高山市の火葬場建設候補地の選定に対する会派としての考え『新火葬場建設地は新宮地区での実現を望む』」

②新火葬場建設地選考に係る市民向け会派意見陳述および意向調査票（市民時報社折込）

③アンケート結果 全体グラフ

④アンケート結果 まち協区別集計表

⑤アンケート結果 まち協区別全付随意見

⑥支所視測点別積雪深表および比較表，候補地高度比較表，経路斜度比較表，推測 CO2 排出量比較表

⑦①の市民意向アンケート調査の市民向け中間報告（市民時報社折込）

添付資料については此方からご覧ください。

<http://nakada-seisuke.com/kasoubatyuukannhoukoku%201.pdf>

また、今回の意向調査を実施する中で新たな視点として調査したデータでは、大萱候補地への路線では高山市が「市道旅行村線の路線変更工事」で強いこだわりをもって主張した「縦断勾配 8%以下」という指導基準を上回る 9.56%の経路が 1860m 続く事も判明しました。次ページをご覧ください。

今回の意向調査の中で寄せられたご意見は全データを「まち協区別全意見」として（令和3年12月30日時点）まとめています。此方からご覧ください。

<http://nakada-seisuke.com/2022-01-26anke-tozennkuiki.pdf>

またその中で寄せられました、今回の市民意向調査についての五問やご批判に対しては、2022/01/26付の折り込み紙面の中で（裏面）私たちの考えを述べさせていただいております。

- ・アンケート内容が恣意的、誘導的ではないか
 - ・市民代表の検討委員会が決定した事案ではないか
 - ・また白紙に戻して建設を遅らせるのか
 - ・反対はどこだろうと必ずあり100%の同意を待っている事は進まない
 - ・アンケートの経費は税金から出費したのか
- についてコメントさせていただいております。

私たちが令和2年12月17付で市長宛に提出した要望書は此方からご覧いただけます。

<http://www.nakada-seisuke.com/R2.12kasouzyoukennkai.pdf>

改めてこの方向性での提案をさせていただいたところです。